

2018年11月16日

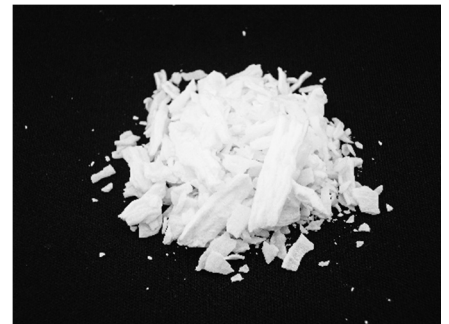
～“環境と肌にやさしい”アミノ酸系洗浄剤～
味の素株、アミノ酸系洗浄剤(フレーク品^{※1})の生産能力を約70%増強
 東海事業所に生産ライン新設、2018年12月より稼働開始

味の素株式会社(社長:西井孝明 本社:東京都中央区)は、化粧品素材事業^{※2}の主力製品であるアミノ酸系洗浄剤(フレーク品)の生産ラインを東海事業所に新設し、2018年12月より稼働開始します。これによりフレーク品の生産能力を当社全体で約70%増強し、急速に高まるアミノ酸系洗浄剤への需要に対応するとともに供給体制を強化します。

※1) 微細な薄片状の形態で、使用時の粉立ちの少なさ、水への溶解性に優れていることが特長。

※2) シャンプーやボディソープ、洗顔料などのトイレットリー製品や化粧品に使用される、主としてアミノ酸由来の原料事業およびOEM事業。

当社は1972年に世界で初めてグルタミン酸を原料としたアミノ酸系洗浄剤を発売して以降、世界約50カ国、3,000社以上にアミノ酸系化粧品素材を提供しているパイオニアです。アミノ酸系洗浄剤は生分解性が高いため環境への負荷が小さく、また肌にやさしいという特長を持っており、シャンプーやボディソープ、洗顔料などに幅広く使用されています。近年、地球環境への関心の高まりにより、石油系洗浄剤からの代替などとしてアミノ酸系洗浄剤市場は年率15%(2014年～2017年)と伸長しています(当社推計)。



アミノ酸系洗浄剤
(フレーク品)

現在、当社は国内外の拠点において、グリシン由来の「アミライト[®]」やグルタミン酸由来の「アミソフト[®]」など多様なアミノ酸系洗浄剤を、液体・パウダー・フレークの3形態で生産し、グローバルに供給しています。近年、アミノ酸系洗浄剤に対する需要の拡大に伴い、当社の生産能力の拡大が急務となっていました。そこで今回、アミノ酸系洗浄剤の増産投資の第一弾として東海事業所にフレーク品生産用の乾燥機を新たに導入し、需要家からの早期の増産が求められていた「アミライト[®]」フレーク品の生産を2018年12月より開始します。またこれにより、フレーク品の生産能力を当社全体で約70%増強します。



当社は今後も需要の伸長が見込まれるアミノ酸系洗浄剤の増産投資を継続的に行い、“地球環境への負荷の低減”と“生活者の快適な生活”に貢献します。

<設備投資の概要>

- (1) 所在地: 味の素株東海事業所(三重県四日市市大字日永1730番地)
- (2) 投資額: 約4億3,000万円
- (3) 生産能力: (フレーク品の) 当社全体の現行能力を約70%増強
- (4) 稼働開始: 2018年12月